「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）に関する次の記述のうち，**誤っている**のはどれか。

1. 廃棄物とは，自ら利用したり他人に有償で譲り渡したりすることができないために不要になった物であり，有価性があるものは廃棄物にはあてはまらない。
2. 産業廃棄物は，事業活動に伴って生じた廃棄物のうち，法律で定められた 20 種類のものと輸入された廃棄物をいい，処理責任は事業者にあるとされている。
3. 一般廃棄物は，家庭から出てくる廃棄物をいい，学校やオフィス，飲食店から発生する紙ごみや生ごみなどの事業系ごみは含まず，市町村に処理責任はあるとされている。
4. 産業廃棄物には，特に爆発性，毒性，感染性その他の人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある廃棄物として特別管理産業廃棄物がある。
5. 我が国における廃棄物の排出量は，事業活動の活発さを反映し，一般廃棄物に比べて産業廃棄物の方がより多く排出されている。

正答　3

騒音の環境基準に関する次の記述について，正誤を正しく組み合わせているのはどれか。

ア　騒音に係る環境基準は，地域の類型及び時間の区分ごとに設定されている。
イ　騒音に係る環境基準は，航空機騒音や建設作業騒音にも適用される。
ウ　騒音に係る環境基準達成状況の評価は，一般地域と道路に面する地域別に行う。
エ　在来鉄道の騒音に係る環境基準は，地域の類型ごとに設定されている。

	ア	イ	ウ	エ
1.	正	正	誤	誤
2.	誤	正	正	正
3.	誤	誤	正	正
4.	正	誤	正	誤
5.	正	誤	誤	正

正答　4